

生徒対象 学校評価アンケート（回答数 99）

A:そう思う B:どちらかというと思う C:どちらかというと思わない D:そう思わない

NO	質 問 内 容	A	B	C	D
1	職業の授業や現場実習を通して、働く意味や喜びを知ることができましたか	33	53	10	4
2	職業の授業や現場実習を通して、自分の「よいところ」や「できること」を見つけることができましたか	37	59	2	2
3	職業の授業や現場実習では、自分の長所を活かし、力を発揮することができましたか	29	65	5	1
4	友人と協力するなど、積極的に人と関わろうと行動することができましたか	38	50	11	1
5	現場実習や学校生活をふりかえり、新たな目標を決めることができましたか	34	57	8	1
6	目標を自分で決めて、達成できるように努力することができましたか	29	55	16	0
7	先生方はあなたのよいところを認め、伸ばしてくれるよう支援してくれましたか	46	39	11	4
8	先生方はあなたの課題を理解して、あなた自身が課題解決をはかろうとすることをサポートしてくれましたか	46	42	7	5
9	「何のために学ぶのか」を理解し、積極的に学ぶことができましたか	33	55	11	0
10	iPad などを使用して課題発見や課題解決に向けて、自分からすすんで学ぶことができましたか	34	55	11	0
11	自分そして友人などの周りの人を大切にすることができましたか	58	34	6	1
12	KeepSafe®(キープセーフ)の授業は、自分の人生を豊かなものにするために役立っていると思いますか	40	47	11	2
13	校内での職業の授業は、将来の自分にとって役立つものであると思いますか	58	38	4	0
14	職業の授業や現場実習を経験することで、自分に適した職種を考えることができたか	49	40	10	1
15	安心した気持ちで学校生活を送ることができていますか	35	40	14	11
16	困ったことがあったときに先生や保護者、友達に相談することができますか	45	46	4	5
17	二つ橋高等特別支援学校に入学してよかったと思いますか	36	54	4	5

アンケートの結果を受けて

- ※ どの質問項目に対しても、多くの生徒が A またはBの評価をしています。本校の教育活動を評価していることがわかります。
- ※ B 評価をすこしでも A 評価に、C・D評価が A・B評価になるように進めています。
- ※ 6「目標を自分で決めて、達成できるように努力することができましたか」の質問に対し、16名の生徒がC評価になっています。「自己実現」をはかることができる生徒の育成が本校の究極の目標。将来しあわせな人生をおくるために、自分の人生を自分で選び、決め、実現していく力の育成をはかりたい。そのための授業改善、学校改善を絶えず続けていきます。
- ※ 15「安心した気持ちで学校生活を送ることができていますか」の質問に対し、C評価14名、D評価11名でした。学校がすべての生徒にとって安心で安全な場所にするために、一人ひとりの教育ニーズを把握し、丁寧に支援を進めていきます。
- ※ 17「二つ橋高等特別支援学校に入学してよかったと思いますか」の質問にC評価4名、D評価5名。卒業時に「この学校を選んでよかった」と思ってもらえるような学校をめざして取り組んでいきます。

NO	項目	質問内容	A	B	C	D
1	【学校教育目標】 働く	働くことをめざした学び(職業の授業や現場実習)によって、生徒たちは働く意味や喜びを知ることができている。	30	33	4	0
2	【学校教育目標】 働く	職業の授業や現場実習、学校生活を通じて、生徒たちは主体的に社会とつながろうとする心が育まれている。	29	36	2	0
3	【学校教育目標】 働く	生徒たちは授業や学校生活、現場実習を通じて、自分のよさに気づき、もてる力を発揮できている。	19	46	2	0
4	【学校教育目標】 自立	生徒たちは多様な人々との交わりや多くの経験を通して、自己理解を深めることができている。	18	46	3	0
5	【学校教育目標】 自己実現	生徒たちは他者と協働しながら、自分らしく社会生活を送る力が育まれている。	17	48	2	0
6	【学校教育目標】 自己実現	生徒たちは、社会や他者を尊重する力が育っている。	20	44	3	0
7	【学校教育目標】 自己実現	生徒たちは、自己の夢や希望に向かって自分らしく幸せに生活できる力が育っている。	14	47	6	0
8	個に応じた指導・支援	生徒たちは、自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力が育っている。	17	42	8	0
9	個に応じた指導・支援	本校は個別の教育支援計画・個別の指導計画をもとに、学校全体で生徒の実態やニーズ、目標、それに基づいた指導内容・方法を共有し実践している。	31	34	2	0
10	主体的な学び	本校は生徒や保護者にも分かりやすく、また関係機関にも有用な個別教育計画の記載内容検討・改善を進めている。	35	29	2	0
11	主体的な学び	本校は「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、授業で学ぶべき「ねらい」を生徒自身が意識し、ICTの活用等をおして、各教科で生徒一人ひとりが、課題発見や解決など主体的に取り組めるように指導を行っている。	18	43	6	0
12	主体的な学び	本校は講義型の授業から対話型の授業づくりを進めている。	22	42	3	0
13	主体的な学び	本校は、授業において学ぶべき「ねらい」を生徒自身が意識し、主体的に取り組めるように指導を行っている。	18	40	6	0
14	主体的な学び	本校は変化する社会の状況やニーズに応じて、一人ひとりのキャリア発達を促し、ニーズを踏まえた指導を行っている。	24	38	4	1
15	道徳・人権教育の推進	本校は他者とのかかわりの中で、生徒の長所や個性を生かし、社会に役立っていることを実感させながら、自信や自己有用感を高める取組を推進している。	26	34	5	1
16	道徳・人権教育の推進	本校は自他の特性を理解し、相互に生かし支え合える関係づくりを大切にしたい指導を進めている。	28	35	2	0
17	道徳・人権教育の推進	本校は特別の教科「道徳」を含めて、学校生活全体で自分らしい生き方の適切な選択に向けた指導の充実を進めている。また、人権チェックシートを活用し、日々の取組を定期的に、ふり返りをしている。	26	36	4	0
18	道徳・人権教育の推進	本校はKeepSafe®(キープセーフ)プログラムの学習を通して、生徒一人ひとりが豊かな人生を送るために自己選択自己決定できる力を育んでいる。	23	38	5	1
19	健やかな体	本校はスポーツの授業を中心に、楽しみながら体を動かす活動を積極的に取り入れ、健康な体と体力の維持向上を目指した取組を推進している。	42	23	2	0

20	センター的機能の取り組み	本校は特別支援教育コーディネーターを中心に、小・中学校等での特別支援教育の充実に資する研修会やコンサルテーションを行っている。	26	38	2	0
21	センター的機能の取り組み	本校はホームページや学校見学会、公開研究会等を通して、特別支援教育の啓発活動を進めている。	28	37	2	0
22	進路支援	校内での職業の授業や職場見学、現場実習は、生徒の就労に向けた意義のある学習となっている。	42	20	2	0
23	進路支援	本校は生徒一人ひとりが自分に適した進路を適切に選択できるように、新規の職場開拓や多様な進路に関する情報をタイムリーに提供している。	31	28	5	0
24	進路支援	本校はアセスメントを通じて生徒の実態を正しく評価し、課題や目標を生徒に分かりやすく伝えている。	37	27	2	0
25	進路支援	本校は、卒業生が働きながら自立した生活を送り、自己実現に向けた生き方を選択していけるよう支援の充実を進めている。	33	29	4	0
26	いじめへの対応	本校は生徒一人ひとりの人権を尊重した指導・支援を行っている。	31	32	4	0
27	いじめへの対応	本校は生徒の自他を尊重する態度や言動を育んでいる。	26	38	3	0
28	いじめへの対応	本校はいじめの未然防止に向けて情報共有し、校長が中心となり、関係職員が連携してチームとして対応している。	28	35	4	0
29	外部連携	本校は社会に開かれた学校を意識して、外部講師の活用を積極的におこなっている。	28	35	4	0
30	外部連携	本校は「地域に開かれた学校」をめざし、積極的に地域との連携をはかっている。	30	35	2	0
31	外部連携	本校は職業の授業において校外からの受注作業を受けるなど、地域へ貢献する活動を積極的におこなっている。	29	36	2	0
32	さいごに	本校は、生徒・保護者の思いや願いを大切にしている。	38	28	0	1
33	さいごに	本校は生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境が整えられている。	39	25	3	0

保護者からのご意見

服装について

→生徒心得を全面的に見直し、本年度より開始となりました。生徒の自主性を重んじた支援へと転換をはかっています。

学校・家庭間での情報共有について

→すぐーなどの連絡方法などを工夫しながら、家庭との連携を密にし、学校と家庭の協力体制をさらにはかっています。

ホームページについて

→ホームページは横浜市公立学校の規格に合わせて改訂予定です。今後ホームページにシラバスを掲載し、年間学習計画を公開予定です。

職場見学について

→職場見学会はPTA進路グループ主催の見学会を開催していますので、ご参加いただければと思います。

資格の取得について

→本校は普通科のため、資格取得は難しいです。それぞれの職業コースでの活動を通して、働くために必要な力を身につけていきます。

本校の特色について

→令和7年度から新たな教育課程で教育活動を進めています。それらをすすめながら「二つ橋らしさ」「特色」が出てくるかと思っています。今後アピールポイントがさらに出てくるように進めていきます(生徒自治の推進や「高校に一番近い高特校」など)。

本校生徒の「あいさつ」について

→気持ちの良い生徒たちのあいさつは二つ橋の良き伝統ですので、ぜひ継承していきたいと考えます。一方で、元気にあいさつすること自体が目的となり、なぜあいさつが必要なのか、いつでも元気のよい大きな声でのあいさつが本当に良いあいさつなのか(職場によっては声の大きさに配慮しなくてはならない職場もあります)、考えて行動できる生徒になってほしいとも願っています。あいさつは人間関係上大切なものであり、必要であることを理解、納得したうえであいさつが自主的にできるようになる生徒の育成をはかっていきます。

「厳しさ」について

→これまではどちらかというと、しっかりできるようにする、すべてをきちんとできるようにするための教師の関わりの「厳しさ」であったように思います。これからは働くうえでの目的やニーズに合わせて必要なことを自分から責任をもって取り組めるよう、社会的な「厳しさ」を生徒たちに伝えていきたいと考えています(時間厳守・約束や納期期日を守る・お客様や同僚の信頼を大切にする、誠実に働くなど)。

ネットの口コミについて

→ネットにはこれまでの取組を私たちが振り返る必要のある書き込みがあります。一部誤解をされている書き込みもありますが、それらも含め真摯に受けとめ、令和7年度より教育課程を全面的に再編し、生徒心得(校則)も抜本的に見直しました。私たちは「させる」指導から「支える」支援へ転換しています。その中で生徒たちの姿も変わり始めています。生徒の姿や充実した取組を積極的に発信し、二つ橋のイメージがよくなるように務めていきます。

アンケートを受けて

- 多くの保護者の方々は、本校の教育活動を評価してくださっています。一方で課題もありますので、改善に向けて努力していきます。
- 保護者からの多くの感謝の言葉が、本校職員が一人ひとりの生徒を大切に進めてきたことを評価してくださり感謝しております。
- 一方で、32の問い「本校は、生徒・保護者の思いや願いを大切にしている。」に対してD評価を付けた保護者が1名存在しました。また、33の問い「本校は生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境が整えられている。」に対してC評価を付けた方が3名いらっしゃいました。すべての生徒と保護者が満足できるよう努めてまいります。
- 多くの保護者から励ましや感謝の言葉をいただきました。保護者の期待を胸に、すべての生徒が「二つ橋を選んでよかった」と思ってもらえる学校をめざしていきます。

職員対象 学校評価アンケート（集計結果：回答43）

A:十分達成できている

B:どちらかといえば達成できている

C:どちらかといえば達成できていない

D:ほとんど達成できていない

NO	【学校教育目標】働く	A	B	C	D
1	働くことをめざした学び(職業の授業や現場実習)によって、生徒たちは働く意味や喜びを知ることができている。	4	34	5	0
2	職業の授業や現場実習、学校生活を通じて、生徒たちは主体的に社会とつながろうとする心が育まれている。	3	34	6	0
3	生徒たちは授業や学校生活、現場実習を通じて、自分のよさに気づき、もてる力を発揮できている。	4	33	4	1

NO	【学校教育目標】自立	A	B	C	D
4	生徒たちは多様な人々との交わりや多くの経験を通して、自己理解を深めることができている。	4	36	3	0
5	生徒たちは他者と協働しながら、自分らしく社会生活を送る力が育まれている。	1	33	9	0

NO	【学校教育目標】自己実現	A	B	C	D
6	生徒たちは、社会や他者を尊重する力が育っている。	0	29	13	0
7	生徒たちは、自己の夢や希望に向かって自分らしく幸せに生活できる力が育っている。	1	31	10	0
8	生徒たちは、自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力が育っている。	1	29	12	0

NO	【重点取組分野】個に応じた指導・支援(担当:全員、学習指導)	A	B	C	D
9	本校は個別の教育支援計画・個別の指導計画をもとに、学校全体で生徒の実態やニーズ、目標、それに基づいた指導内容・方法を共有し実践している。	8	23	12	0
10	本校は生徒や保護者にも分かりやすく、また関係機関にも有用な個別教育計画の記載内容検討・改善を進めている。	7	27	8	0
11	本校は生徒の短期目標の共有のため、個別の教育支援計画の作成や個別検討会などで検討をおこなっている。	12	21	9	0

NO	【重点取組分野】主体的な学び(担当:教科担当)	A	B	C	D
12	本校は「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、授業で学ぶべき「ねらい」を生徒自身が意識し、ICT の活用等をとおして、各教科で生徒一人ひとりが、課題発見や解決など主体的に取り組めるように指導を行っている。	6	28	6	0
13	本校は講義型の授業から対話型の授業づくりを進めている。	6	30	4	0
14	本校は変化する社会の状況やニーズに応じて、一人ひとりのキャリア発達やニーズを踏まえた指導を行っている。	4	26	10	0

NO	【重点取組分野】 道徳・人権教育の推進(担当:全員、人権・生徒指導、道徳)	A	B	C	D
15	本校は他者とのかかわりの中で、生徒の長所や個性を生かし、社会に役立っていることを実感させながら、自信や自己有用感を高める取組を推進している。	5	28	9	0
16	本校は自他の特性を理解し、相互に生かし支え合える関係づくりを大切にした指導を進めている。	2	33	7	0
17	本校は特別の教科「道徳」を含めて、学校生活全体で自分らしい生き方の適切な選択に向けた指導の充実を進めている。また、人権チェックシートを活用し、日々の取組を定期的に、ふり返りをしている。	4	31	7	0
18	本校はKeepSafe®プログラムの学習を通して、生徒一人ひとりが豊かな人生を送るために自己選択自己決定できる力を育てている。	7	30	4	0

NO	【重点取組分野】 健やかな体(担当:担任、保健スポーツ科、ほか関連教科等)	A	B	C	D
19	本校は就労準備性ピラミッドの「健康管理」や「生活のリズム」を参考にして、自分の身体や健康についての意識を高め、社会人としての基本的生活習慣を保てるように、自己の体調管理や生活管理に関わる指導の充実を進めている。	4	19	12	0
20	本校はスポーツの授業を中心に、楽しみながら体を動かす活動を積極的に取り入れ、健康な体と体力の維持向上を目指した取組を推進している。	8	25	2	0

NO	【重点取組分野】 センター的機能の取り組み(担当:連携支援、地域支援、WEB 担当)	A	B	C	D
21	本校は特別支援教育コーディネーターを中心に、小・中学校等での特別支援教育の充実に資する研修会やコンサルテーションを行っている。	8	13	11	2
22	本校は小・中学校等の特別支援教育研究会に参加し情報交換等を行いながら、小中高の連携を進めている。	4	19	8	2
23	本校はホームページや学校見学会、公開研究会等を通して、特別支援教育の啓発活動を進めている。	3	28	5	0

NO	【重点取組分野】 進路支援(担当:進路支援)	A	B	C	D
24	本校は生徒一人ひとりが自分に適した進路を適切に選択できるように、新規の職場開拓や多様な進路に関する情報をタイムリーに提供している。	6	24	6	0
25	本校は就労準備性ピラミッドの考え方をもとにしたアセスメントを通じて生徒の実態を正しく評価し、課題や目標を生徒に分かりやすく伝えている。	4	23	9	0
26	本校は、卒業生が働きながら自立した生活を送り、自己実現に向けた生き方を選択していけるよう支援の充実を進めている。	8	23	5	0
27	また、その支援を通して教職員の就労に関する専門性を向上させている。	2	22	11	0

NO	【重点取組分野】 いじめへの対応(担当:生徒指導、いじめ防止対策検討委員会)	A	B	C	D
28	本校は人権教育に関する研修を実施し、教員自らが生徒一人ひとりの人権を尊重した指導・支援を行っている。	13	19	3	0
29	本校は生徒の自他を尊重する態度や言動を育てている。	4	26	5	0
30	本校はいじめの未然防止に向けて情報共有と指導・支援体制の構築をはかるために、校長を中心に関係職員が連携してチームとして対応している。	7	23	5	0

NO	【重点取組分野】人材育成・組織運営(働き方)(担当:メンターチーム・教務)	A	B	C	D
31	本校はキャリアステージに応じた目標設定と役割分担に基づく組織の機能化を進めている。	4	26	5	0
32	本校は年次研修や校内メンター研等を計画的に実施し、同僚性を高める中で各教員の力量の向上をはかっている。	7	23	5	0
33	本校は休憩時間の確保、留守番電話対応、定時退勤日、必要な振替休暇の取得を推進するなど、教職員のワークライフバランスを考慮し、様々な業務について教職員が相互に補完しあって学校運営を行っている。	7	20	7	1
34	本校は「チーム二つ橋」として、教職員一人ひとりの長所を生かし、風通しの良い職場環境になっている。	4	23	6	2

NO	【重点取組分野】外部連携(担当:教務・職業授業者)	A	B	C	D
35	本校は社会に開かれた学校を意識して、外部講師の活用を積極的におこなっている。	9	23	2	0
36	本校は「地域に開かれた学校」をめざし、積極的に地域との連携をはかっている。	6	22	6	0
37	本校は職業の授業において校外からの受注作業を受けるなど、地域へ貢献する活動を積極的におこなっている。	6	23	5	0

NO	【さいごに】全職員対象	A	B	C	D
38	本校は、生徒・保護者の思いや願いを大切にしている。	9	33	0	0
39	本校は生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境が整えられている。	7	30	6	0

アンケートの結果を受けて

- ※ B 評価をすこしでも A 評価にできるよう、さらに充実できるように進めていきます。
- ※ 人権研修・メンター研修・いじめ防止対策委員会の取組に対して評価が高くなっています。力を入れて取り組んできた結果、成果が見られたと高い評価をつける職員が多く見られました。
- ※ 長い人生にわたって生徒たちが「自己実現」がはかれるよう、私たちはどのような支援ができるか。「自分の人生を豊かなものに、夢や希望をもって自分の力で切り拓いていける」生徒の育成をめざして、日々教育活動に取り組んでいきたと思っています。